

---

# 狼につき、嫉妬

きまぐれ屋

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

狼につき、嫉妬

### 【Zコード】

N2187D

### 【作者名】

きまぐれ屋

### 【あらすじ】

久しぶりに会う愛しい彼。だけど、何故か不機嫌。嫉妬なんて、あたしだけが感じる感情でしょう？

(前書き)

狼につき、危険。の続編です。そつちの後是非お読み下さい。

「ど、したんですか・・・」

久しぶりに足を踏み入れたボロアパート  
あたしはいつもと変わらない部屋の状況に、軽くため息を吐いていた。

しかしいつものデスクにはせんせいはいなくて。彼は部屋の隅でいじけていたのだ

「・・・なんのつもりですか?」

「惚れた弱みなのか。

自分の言葉にいつもの霸気が感じられなくて、情けない。

・・・もう少しひ！

「せんせいつ！？いーかげんにー・・・」

肩を引き寄せて、一週間ぶりの愛しい人の顔を覗き込んだあたしは、思わず目を見開いた。

キスをするとき口唇がくすぐつたいとは言つたけど・・・まさか剃るとは・・・

幼くなつたその顔は、元々整つたせんせいをより際立たせていた。

「せんせ、それー・・・」

あたしはにやける頬を抑えてせんせいに手を伸ばした。

外見にまつたくと言つて言つて言つて程興味の無い彼だ。その人が、こうしてあたしの一言で変わってくれてる。

外見がどうよりも、あたしの存在価値があるようで、何か嬉しいすっかり頬が緩んだあたしの手のひらを、パシンッと愛しい彼の手が振り払つた。

「なんで俺が怒つてんのか、まづ自分の胸に聞いてみる。」

「・・・せんせ、い?」

彼が、何に對して怒つてゐるのか。  
原因はあたししか考えつかなくて

けど、自分が何をして怒らせたのかは、分からぬ

ふいつと背を向けて、再び押し黙つたせんせいの姿が、まるで別人  
のようだ。

今は、全身であたしを拒絶しているように思える。

いつも大きい背中からは何も感じられなくて、拒絶されたどうし  
よつもない不安と孤独感が押し寄せてきた。

扱われた行き場の無い手が、悲しみに小刻みに震えだして、悲しみ  
を打ち消すようにぎゅっと握りしめた。

どうしようも無い汚いこの感情も、一緒に握つぶせればいいの。  
なんて思つてしまつ。

「～～」

「・・・て、え、わつ？！中村？！」

反応の無いあたしを見るのに振り返つたのだろう。せんせいはあたふたと、あたしの目から溢れる滴を掬つた。

「なんで、怒ってるのよ  
一週間ぶりに会えたのに・・・

「うつ、ふえ・・・」

情けない声で嗚咽を出し始めたあたしに、せんせいが困ったように口を開いた。

「……つ一週間も顔出さない上に、お前が別の新人作家の編集も受けたりするからだろ？！」「

「・・・ふえ」

あたしが言葉に出来なかつた質問に答えたせんせいは、微かに赤く染まつた顔を覆つた。

確かに、新人の男の人の編集も受け持つた。

仕事が倍忙しくなつたあたしは、せんせいにも会えなかつたのだ。

「・・・やめもや・・?」

あたしだけ、じゃなかつたの

「・・・うつせえ、今日ばぜってえ帰さねえからな」

首筋に落ちた確かな熱は、赤い花を咲かせて

冷たくてじりじりした細い指が、背中を撫でてホックを器用に外した。

「一ツひや

「やめろって言われても、やめねえから

抵抗しても、逆に燃えるけどね

いじわるな囁きを耳に残しつつ、冷たい床は徐々に熱を帯びていった。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2187d/>

---

狼につき、嫉妬

2010年11月30日03時47分発行